

ext.

[イクスト]

取扱・組立説明書

ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要なときにいつでも見られるところに保管してください。

製品コード	製品名
8SXTHD	スイッチシェルフ デスクセット
8SXTHS	スイッチシェルフ シェルフセット



デスクセット

1. 安全にお使いいただくために.....	1 P
2. 末永くお使いいただくために.....	1 P
3. 各部の名称.....	2 P
4. ご使用方法.....	3 P
5. お手入れ方法	4 P
6. 仕様	5 P
7. 組立方法	6 P

はじめに

このたびはオカムラ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
納品書や領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管してください。
また、この説明書の内容をよく理解されたうえでご使用ください。

危害レベルについての説明

この説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、危害・損害の程度を表示しています。



注意

誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

図記号についての説明

この説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしております。その表示と意味は次のようになっています。



注意マークは、警告や注意をうながしていることを表しています。



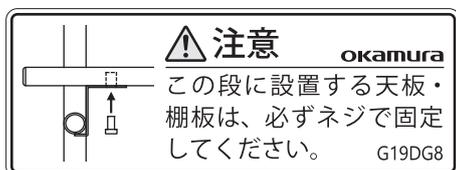
指示マークは、そうしなければならないことを表しています。

注意喚起ラベルについての説明

この製品には注意喚起ラベルが貼ってありますので、注意事項を守ってご使用ください。
ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり、剥がしたりしないでください。

ラベルの貼り付け場所

スイッチシェルフ：固定金具



1. 安全にお使いいただくために

下記の安全上の注意をお守りいただけない場合、傷害を負う可能性があります。
お客様の安全のため、性質を理解した上で、正しくご使用ください。

⚠ 注意



製品の破損によるケガの恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- 乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。
- ボルトやねじが緩んだ状態や部品が外れた状態、故障した状態で使用しないでください。
- 分解・修理・改造はしないでください。



製品の転倒によるケガの恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- 天板や棚板には最大積載質量より重いものを載せたり収納したりしないでください。
- 天板や棚板にものを載せる時は、静かに載せてください。また、天板や棚板の角に重いものを載せないでください。
- 移動の際は引きずらないでください。2人以上で持ち上げて運んでください。
- 製品にもたれたり、ぶらさがったり、腰かけたりしないでください。



指はさみによるケガの恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- スキマや可動部には手や指を入れないでください。



室内の化学物質濃度が高まりますので、適切な換気を行ってください。

- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行うようにしてください。環境基準はクリアしていますが個々人の体質により化学物質に過敏に反応する場合があります。
- 室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

2. 未永くお使いいただくために

下記の取扱い上の注意をお守りいただけない場合、故障等による損害や不具合が発生する恐れがあります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

取扱い上の注意

変形などの原因となるので、設置の際は以下のことがらにご注意ください。

- 変形や日焼けによる変色の原因になるので、直射日光の当たる場所は避けてください。窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。
- 変形や変色の原因になるので、ストーブややかんなど、熱を発するものを近づけないでください。
- 変形や変色の原因になるので、天板の上には、加熱した鍋、湯沸かし等を直接置かないでください。
- 反り・カビ・錆の発生などの原因となるので、屋外では使用しないでください。屋内で使用してください。
- 反り・カビ・錆の発生などの原因となるので、水のかかるところ等では使用しないでください。
- 変形や変色、カビの原因になるので、室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

本体の歪み、可動部の不良の原因となるので、以下のことがらにご注意ください。

- 本体を水平に保つようにしてください。
- アジャスターにより、床面と水平を保つように調整してください。

ご使用に関するお願い

天板面について

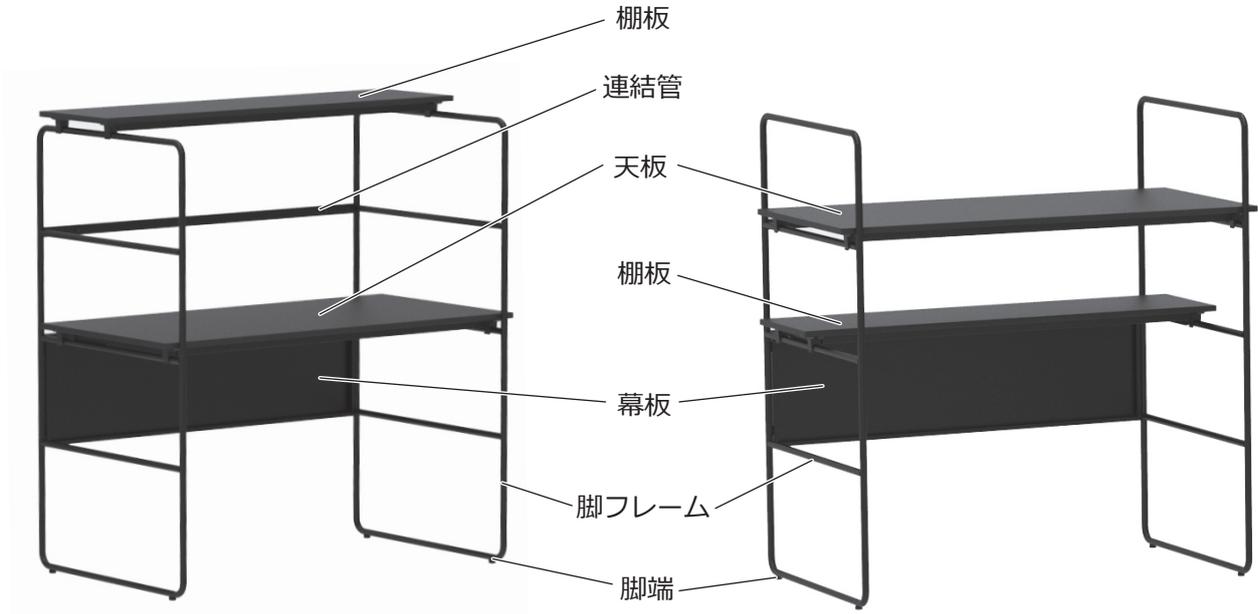
- マウスなどによる擦れは、天板に艶上がりを生じさせ、色味が変わって見えることがあります。日常的に擦れが発生する作業を行う場合、パッドなどの保護シートの利用をお願いします。

3. 各部の名称

スイッチシェルフ デスクセット

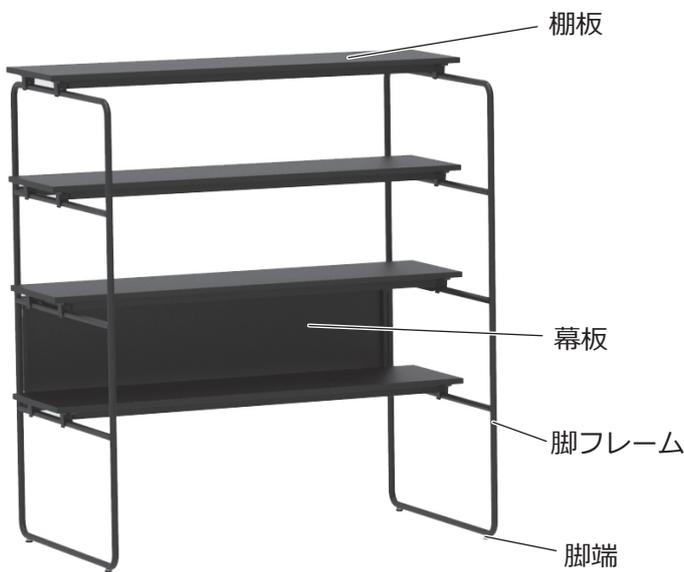
デスク

ハイデスク

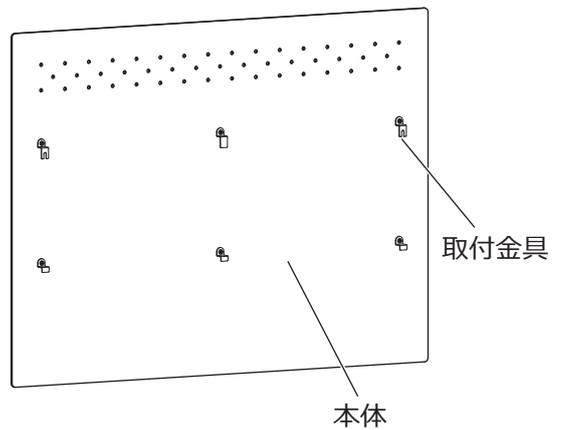


スイッチシェルフ シェルフセット

オプション



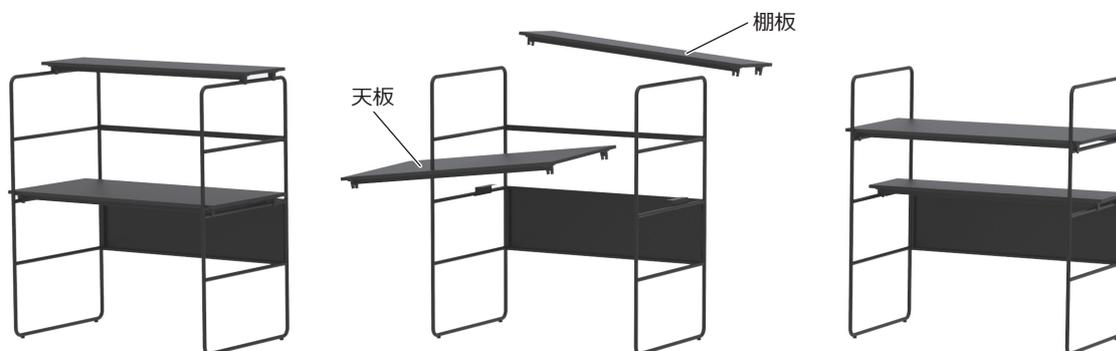
バックパネル



4. ご使用方法

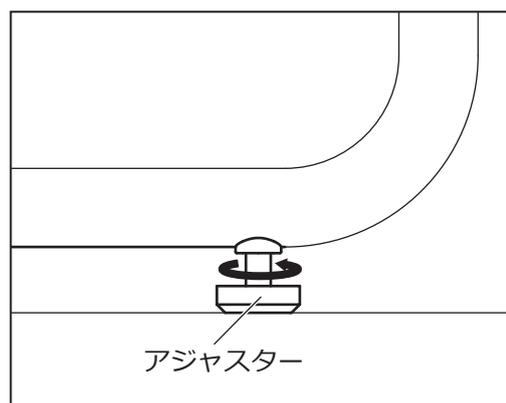
デスク / ハイデスクの切り替え

デスクセットは天板と棚板の高さを変えることでデスクとハイデスクとに切り替えて使うことができます。天板/棚板の取付は組立手順 (P.8) をご覧ください。



アジャスターの調整方法

本体の高さは、脚フレームのアジャスターを回すことにより10mmの範囲で調整できます。設置の際にはこのアジャスターにより、製品の水平を保つようお願いします。



5. お手入れ方法

日常のお手入れ

アルミ部・スチール部

- きれいな乾いた柔らかい布で、から拭きをしてください。
- 水分が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。
- 埃や指紋（皮脂）は、放置せずに拭き取ってください。

樹脂部

- 固く絞った柔らかい布で水拭きをしてください。
- 汚れが目立つ場合は、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸して絞ってから、拭き取ってください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらにかから拭きをして乾燥させてください。

ご注意ください

- 強く擦らないでください。艶上りが発生し、色味が変化します。汚れが落ちない場合は、手指消毒用アルコール剤を柔らかい布にしみこませ、拭きあげてください。
- アルカリ、酸性の洗浄剤は使用しないでください。
- 天板面を拭く際に洗浄剤が、化粧板（メラミン化粧板など）と縁材のすき間に染み込まないようにしてください。

定期的なメンテナンスのお願い

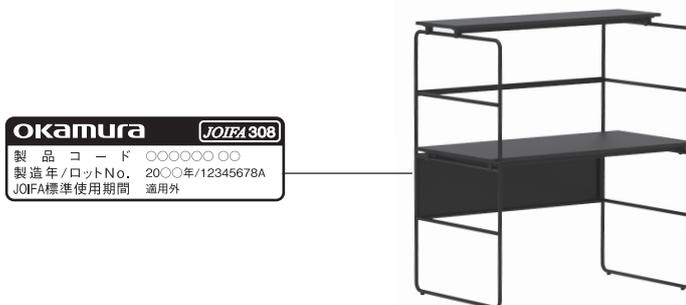
- 使用中にボルトやねじのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めしていただくのが長持ちさせる秘訣です。そのまま放置せず、早めの増し締めをしてください。

アフターメンテナンス

- 弊社では製品を長くお使いいただけるよう、定期的なメンテナンスやクリーニングを承っております。修理については(株)オカムラサポートアンドサービスまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 保証期間中の製品不具合については、無償にて対応させていただきます。保証する項目については裏表紙の保証の明細をご確認ください。
- 保証期間終了後も、修理により機能が維持できる場合は、有料にて修理を承っております。
- お問い合わせの際に必要な製品コードや製造ロット等は、この製品に貼ってある製品コードラベルに記載されています。ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり、剥がしたりしないでください。

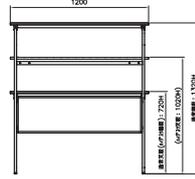
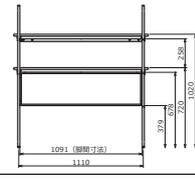
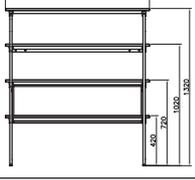
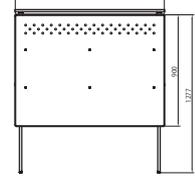
製品コードラベルの貼り付け場所

スイッチシェルフ：幕板上部



6. 仕様

寸法

製品名	製品コード	外形図	幅 (mm)	奥行き (mm)	高さ (mm)	
スイッチシェルフ デスクセット	8SXTSD	デスク		1200	695	1320
		ハイデスク		1200	695	1250
スイッチシェルフ シェルフセット	8SXTHS		1200	695	1320	
バックパネル	8SXTP□	取付時		1196	900	5

主な材質と表面加工

部位		材質	表面加工
天板	表面材	高圧メラミン化粧板	—
	縁材	ABS樹脂	—
	芯材	パーティクルボード	—
補強材		金属 (鋼)	ポリエステル樹脂塗装
クリップ		ナイロン	—
フレーム	脚フレーム、幕板、連結管	金属 (鋼)	ポリエステル樹脂塗装
	アジャスター	ナイロン	—
バックパネル	本体	ポリエステル	—
	取付金具	金属 (鋼)	ポリエステル樹脂塗装 またはアミノアルキド樹脂塗装

製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。

スペック

製品名	部位	最大積載質量
スイッチシェルフ	天板	50kg (※等分布質量)
	棚板	25kg (※等分布質量)

※等分布質量とは・・・

天板等に均等に質量をのせることを意味します。部分的に偏った質量をのせるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

7. 組立方法

安全に組み立てていただくために

下記事項をよくお読みいただき、正しく組み立ててください。

⚠ 注意

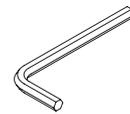
- 組立て部品は省かずに使用して正しく組み立ててください。
- 十分な作業スペースを確保して2人以上で行ってください。1人で行うとケガをする恐れがあります。
- ねじ類は指定の工具で確実に締めてください。不十分な締め付け等で、破損や転倒によるケガをする恐れがあります。
- 電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が破損したり、ねじが外せなくなる恐れがあります。
- 部品の端部や裏側、スキマには気を付けてください。ケガをする恐れがあります。

正しく組み立てていただくために

組立前にご確認ください。

- 部品の点数をチェックしてください。
- 組立に使用する工具を準備してください。
- 床に布やダンボールを敷きその上で作業してください。床を傷つける恐れがあります。
- 製品は大切にお取り扱いください。

使用工具



六角レンチ (対辺4mm)
※付属品

構成部品 (デスクセット)

フレームセット		天板セット	
脚フレーム (左) ×1	脚フレーム (右) ×1	天板 ×1	棚板 ×1
幕板 ×1	補強材 ×2		
連結管 ×1	クリップ 突起あり ×4		
	突起なし ×4		
ねじ類	低頭ボルト ×28 (M6×L12)	実物大	皿ボルト ×6 (M6×L35)
		実物大	

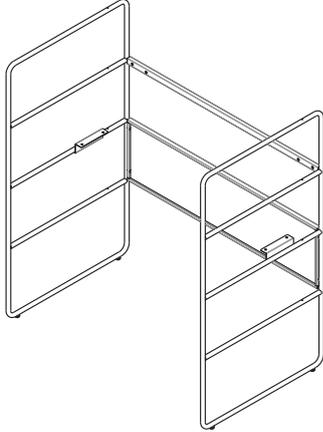
構成部品 (シェルフセット)

フレームセット		天板セット	
脚フレーム (左) ×1	脚フレーム (右) ×1	棚板 ×4	
幕板 ×1	補強材 ×4		
連結管 ×1	クリップ 突起あり ×8		
	突起なし ×8		
ねじ類	低頭ボルト ×44 (M6×L12)	実物大	皿ボルト ×12 (M6×L35)
		実物大	

7. 組立方法 (続き)

組立手順

1 フレームの組立



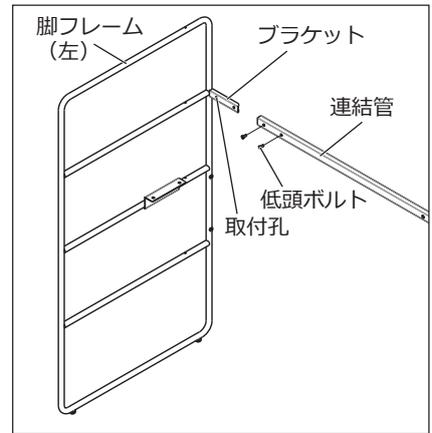
注意
2人で作業してください。

①連結管を取り付けます。
左右の脚フレームのブラケットに連結管を差し込み、低頭ボルトにて連結管を脚フレームに留めます。

組立のポイント

ボルトは最後まで締め込まず、仮止めの状態にしておくと②の取付がしやすいです。

低頭ボルト×4
(M6×L12)

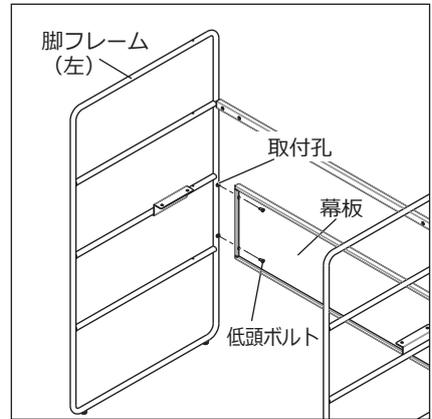


②幕板を取り付けます。
低頭ボルトにて幕板を左右の脚フレームに留めます。

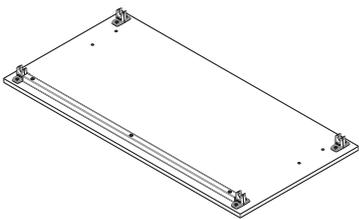
組立のポイント

すべてのボルトを仮止めで取付後、最後に六角レンチを使ってボルトを締め込んでください。

低頭ボルト×4
(M6×L12)



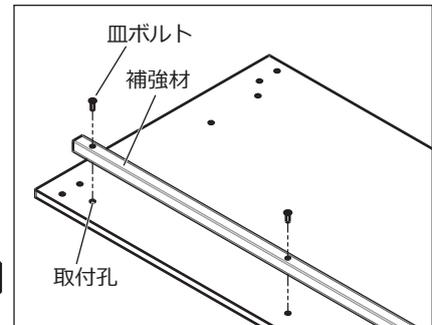
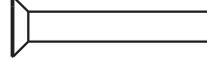
2 天板/棚板の準備



図は天板の場合ですが、棚板の場合も同じ手順です。

①補強材を取り付けます。
皿ボルトにて補強材を天板または棚板の裏側に留めます。

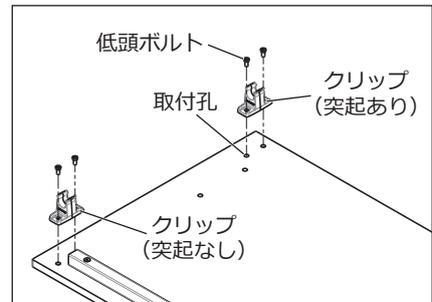
天板/棚板一枚当たり
皿ボルト×3
(M6×L35)



②クリップを取り付けます。
突起なしの方を補強材の隣に、突起ありの方を補強材がないところに付けてください。

組立のポイント

クリップを付け間違えないよう突起の有無を必ず確認してください。



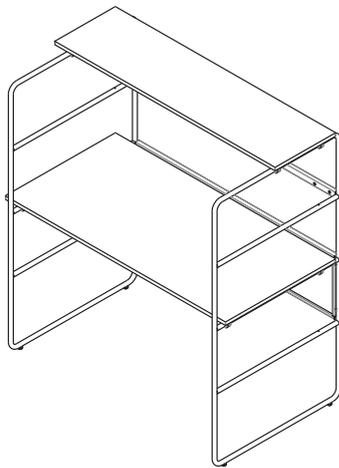
天板/棚板一枚当たり
低頭ボルト×8
(M6×L12)



7. 組立方法 (続き)

組立手順 (続き)

3 天板/棚板の取付



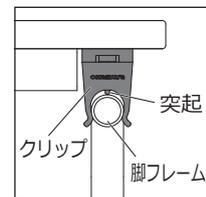
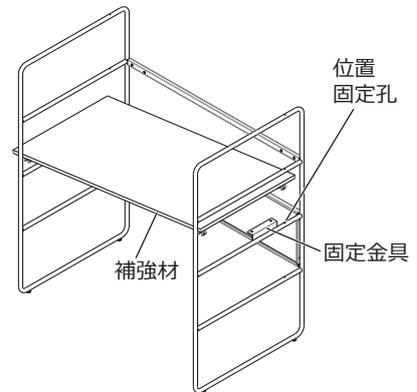
図はデスクの場合ですが、ハイデスクやシェルフの場合も同じ手順です。

①固定金具があるところにデスクの場合は天板を、ハイデスクまたはシェルフの場合は棚板を取り付けます。
補強材が手前になるように天板または棚板を置いてください。
このとき、片側ずつはめるとクリップがはめやすいです。

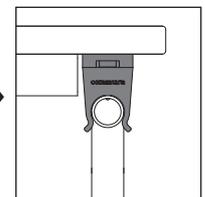
⚠ 注意

スキマに指や手を入れないよう、天板の縁を持ってください。

クリップ内側の突起が位置固定孔に刺さり、クリップが完全にはまるよう位置を調整してください。



[はまっていない状態]



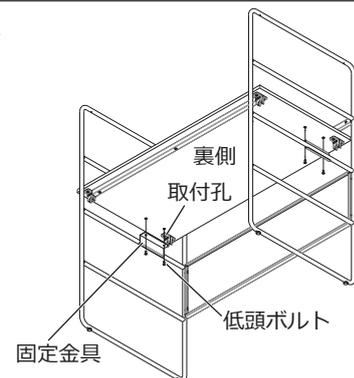
[はまっている状態]

②裏側から低頭ボルトにて固定金具と天板または棚板を留めます。

組立のポイント

すべてのボルトを仮止めで取付後、最後に六角レンチを使ってボルトを締め込んでください。

低頭ボルト×4
(M6×L12)



③他の天板または棚板を取りつけます。
補強材が手前になるように天板/棚板を置いてください。
このとき、片側ずつはめるとクリップがはめやすいです。

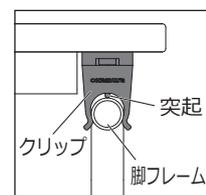
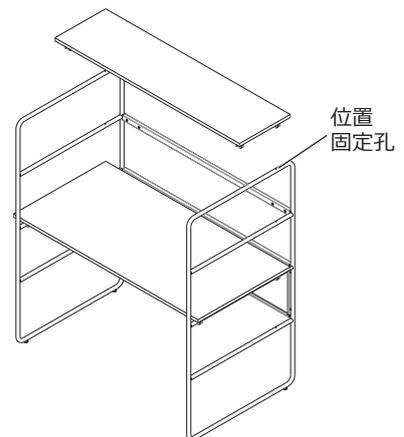
⚠ 注意

スキマに指や手を入れないよう、天板の縁を持ってください。

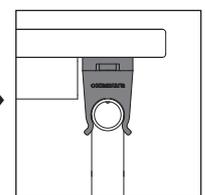
クリップ内側の突起が位置固定孔に刺さり、クリップが完全にはまるよう位置を調整してください。

⚠ 注意

クリップがしっかりと脚フレームにはまっていることを確認の上、使用してください。



[はまっていない状態]

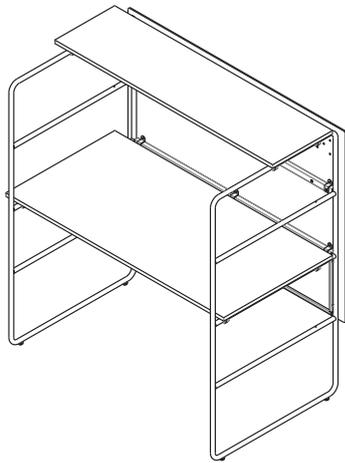


[はまっている状態]

7. 組立方法 (続き)

組立手順 (続き)

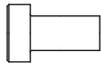
4 バックパネルの取付 (オプション)



図はデスクの場合ですが、ハイデスクやシェルフの場合も同じ手順です。

①バックパネルに取付金具を取り付けます。
金具の種類と位置に注意し、ナットとボルトを使用して金具を留めてください。
パネルに表裏はありません。

六角穴付低頭ボルト×6 (M6×L12) 取付金具A×2

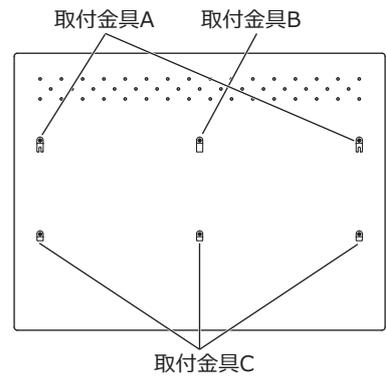
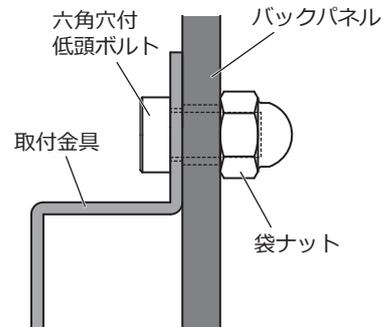


取付金具B×1

袋ナット×6



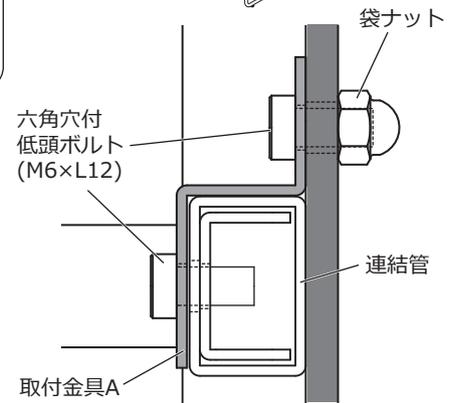
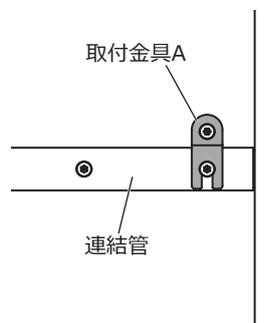
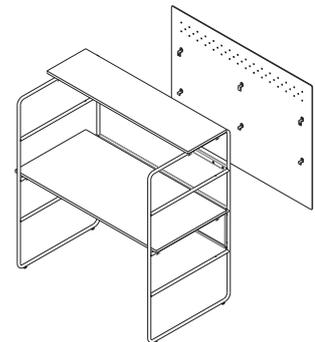
取付金具C×3



②連結管を留めている内側の低頭ボルトを5mmほど緩め、連結管と幕板に取付金具を引っ掛けるようにバックパネルを取り付けます。
金具がすべて引っかかっていることを確認し、連結管の低頭ボルトを締め直してください。

組立のポイント

6つの取付金具を同時に引っ掛ける必要があるため、パネルを垂直に持つようにしてください。



最後に

組立後に必ず点検し確認してください。

●ボルトやねじに緩みがないか?

●製品にキズ、汚れ、ガタツキ、不具合等がないか?

保証の明細

家具の無償保証は、通常の補修（メンテナンス）が行われていることが前提となります。保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

保証する項目について

保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具-製品安全基準のガイドライン」に基づいております。一般のオフィスにおいて、通常の執務状態（1日8時間程度）で使用した場合を想定して定められたものです。保証期間は、購入日から起算して項目ごとに下表の通りです。

項目	内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変色・褪色、レザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年

保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）の提示がない
- ・中古品・譲渡品・個人売買品
- ・製品コードラベルの剥離、汚損などにより、製品コードや製造ロット等の識別ができない
- ・弊社に責のない外部要因（天災地変・火災・異常電圧等）に起因する故障及び破損
- ・日本国以外で使用する場合（公海上を含む）
- ・24時間・年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所（消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等）で使用している
- ・高温・多湿・著しい温度変化がある場所等異常な環境下で使用・保管している
- ・設置後の移動やお客様の運搬による故障及び破損
- ・弊社発行の説明書に従って組み立てられていない
- ・弊社発行の取扱説明書に従って使用されていない
- ・使用方法において、お客様の過失が認められる
- ・可動部の動作音（椅子のリクライニング等）
- ・消耗品（キャスター・脚端・フェルト・肘パッド・電球・電池・バッテリー等）
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
- ・通常使用により生じる異音・変形・キズ・錆・カビや、接触や摩耗による変色・褪色等
- ・天然材料（木・革・その他）における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い
- ・表面素材（張地・樹脂・塗装・その他）における色目・縫い・光沢等の質感の違い

修理部品の供給期間について

修理部品は製品の製造中止後5年間保有しております。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格・納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきますのでご了承ください。

JOIFA 標準使用期間について

日本オフィス家具協会（JOIFA）では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。

この期間は、注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。

その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお勧めさせていただく場合もあります。

詳しくは、日本オフィス家具協会（JOIFA）ホームページをご覧ください。

<https://www.joifa.or.jp>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体にお問い合わせください。

OKamura 株式会社オカムラ 横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル https://okamura.co.jp	修理に関するご用命は オカムラサポートアンドサービス フリーダイヤル ☎ 0120-448-105 受付時間 24 時間受付（無休）	製品に関するご質問は お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-81-9060 受付時間 9:00-17:00（土・日・祝日を除く）
	お問い合わせの際、あらかじめ製品コードをご確認いただくと、ご案内がスムーズです。	